

## 4 家庭との連携

### (1)家庭学習について

家庭学習の充実を図るため、年度初めに全学年用と低・中・高学年用の「家庭学習の手引き」を配布し、家庭との連携のもとに学習習慣の定着を図った。

#### ○「家庭学習の手引き」について

全学年用の「家庭学習の手引き」には、「家庭学習の目的」、「学習しやすい環境づくり」、「家庭学習の取り組み方」などを載せている。

「家庭学習の目的」には、①学習の習慣化、②学習したことの定着・習熟、③自分で学ぼうとする意欲の育成などを詳しく述べている。「学習しやすい環境づくり」では、①学習時間の目安、②机の整頓・学習用具の準備、③テレビの音を消すなどを示している。「家庭学習の取り組み方」には、①宿題のやり方、②残った時間の学習のやり方を書いている。

各学年用の「家庭学習の手引き」には、「各学年で身につけたい力」、「家庭学習をするときの留意点」、「こんな学習をしましょう」という観点で、学年に応じた具体的な内容を例示している。

「家庭学習の手引き」については、参観日や個人懇談などで話題として取り上げ、家での家庭学習の様子を聞いたり、効果的な学習の仕方について話をしたりした。

**家庭学習の手引き (保護者の皆様へ)**

今井小学校では、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう、家庭学習の充実を図るため、年度初めに全学年用と低・中・高学年用の「家庭学習の手引き」を配布し、家庭との連携のもとに学習習慣の定着を図った。

をあげるためには、保護者の協力が必要です。保護者の学習を育てていきた

**家庭学習の目的**

①学習の習慣化  
学年が進むにつれて、低学年のうちから学習の習慣を身につけてほしい。

②学習したことの定着・習熟  
「計算」や「漢字」の学習を繰り返し練習することによって、学習したことをしっかりと定着させたい。

③自分で学ぼうとする意欲の育成  
学校で学んだことを子どもたちが「喜び」がより深まるようにしたい。

**学習しやすい環境づくり**

○家庭学習に取り掛ける時間は、1日の時間は限

が大切です。学校から帰ってすぐに家庭学習に取り組むのが、終わってから取りかかるのかわりに、お子さんのリズムに合わせて画してみてください。

**時間の目安**

〈低学年〉20～30分程度、〈中学年〉40～50分程度、〈高学年〉60分程度

○勉強する場所を決めましょう。  
机のまわりを整頓して、学習用具をととのえましょう。  
○テレビやゲームなどを消して、静かな環境を確保しましょう

**家庭学習の取り組み方について**

①まず、宿題をしましょう。  
文字は、ていねいに書きましょう。  
問題はしっかりと読みましょう。  
できたら、必ず見直しをしましょう。

②残った時間を何にするか、考えてみましょう。  
○その日に習ったことを復習する。  
・教科書のその日に習ったページを読んで、問題をもう一度、大切なところをノートに写したりする。  
○苦手な教科の練習をする。  
・漢字ドリルを使って漢字の練習をする。  
・前の学年の教科書を見て、前の漢字の練習をする。  
・意味調べをする。  
・計算ドリルで計算練習をする。  
・カードを使って九九練習をする。  
・教科書の問題を始めからもう一度といてみる。  
・社会科や理科の教科書を読む。  
・社会科や理科の教科書の大切なところをノートに写す。

**家庭学習の手引き (1・2年生)**

がっこうでペンきょうを習ったと、あしたのペンきょうでもペンきょうをしましょう。

**1 こんな力を身につけよう (1年生)**

- ひらがな・かたかな
- 80じのかんじ
- 「て・に・を」の活用
- たしざん・ひきざん
- えんぴつをたたく

**2年生**

- ゆっくりせいじ
- 160字のかんじ
- じゅんじょよく
- かけざん九九がす
- きめられたながさを
- ひける。
- ひっさんでけいさ

**2 家庭学習をするときには**

- はじめにつくえのうえやみのまわりをせいいいせいでんじしよう。
- ペンきょうちゅうは、テレビやゲームのスイッチをけいしよう。
- 20ぶんいじょうはがんばってペンきょうしよう。
- まず、がっこうのしゅくだいをしよう。
- おわったら、あすのがっこうのじゅんびをしよう。

**3 こんな学習をしてみましょう**

◎「よむ」れんしゅう

- こえにだして、すらすらとよめるようにしよう。
- ぶんのくざりやこえのおおきさ・はやくにきをつけてよましよう。
- かいわにきをつけて、よましよう。

◎「かく」れんしゅう

- ひらがな・かたかな・かんじを、ただしくかけるようにしよう。
- じのかたち・かきじゆん・よみかた・おくりがなにも、きをつけてかましよう。

◎「さんずう」のがくしゅう

- かずのよみかた・かきかたを、れんしゅうしよう。
- たしざんやひきざんのれんしゅうをしよう。
- かけざん九九がすらすらいえるように、れんしゅうしよう。
- しき・ひっさん・こたえをわいて、ただしくはやくけいさんでけるようにしよう。
- おわったら、すぐこたえあわせをして、まちがっていたらもういちどやりなおしよう。

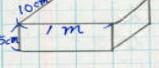
全学年に配布

1・2学年用

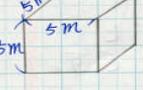
🌸 自分で作った計算 🌸



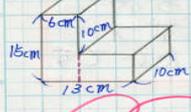
式  $2 \times 1 \times 1 = 2$   
A.  $2 \text{ cm}^3$



式  $10 \times 10 \times 5 = 5000$   
A.  $5000 \text{ cm}^3$



式  $5 \times 5 \times 5 = 125$   
A.  $125 \text{ cm}^3$



式  $10 \times 6 \times 15 = 900$   
 $10 \times 7 \times 5 = 350$   
 $900 + 350 = 1250$

たて×横×高さ = 体積を  
あそびますに...

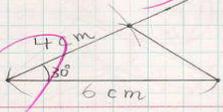
算数

合同...び...たり重ね合わせれること。

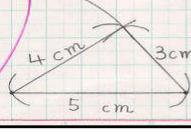
対応する...重なり合うこと。

🌸 自分で作った問題 🌸

① 2つの辺の長さが6cm, 4cmでその間の角の大きさが30°の三角形



② 3つの辺の長さが5cm, 3cm, 4cmの三角形



自主学习をしてきた児童のノートのよいところを教師が認めたり、算数コーナーに掲示したりすることによって、自主的に学習してくる児童も増えてきた。

### ○各学年の家庭学習について

「家庭学習の手引き」のような児童の自主的な学習ガイドの他に、各学年では手作りプリント、計算ドリル、市販プリント等を工夫しながら宿題を出している。

(一例) 週末に出す手作りプリントは、保護者から出してもらった問題か児童が作った問題を1問入れ、答え合わせをしてもらっている。家の人の感想を書いてもらうことで、子どもの理解度の確認ができたり、子どもの励みにつながったりしている。

ひきざんのひきざん ( )

しゅくだいのめあて

いろいろなひきざんをしよう。

①  $\begin{array}{r} 47 \\ -27 \\ \hline 20 \end{array}$

②  $\begin{array}{r} 70 \\ -20 \\ \hline 50 \end{array}$

③  $\begin{array}{r} 47 \\ -45 \\ \hline 2 \end{array}$

④  $\begin{array}{r} 47 \\ -5 \\ \hline 42 \end{array}$

<れんしゅうもんだい 1>

⑤  $\begin{array}{r} 85 \\ -35 \\ \hline 50 \end{array}$

⑥  $\begin{array}{r} 70 \\ -30 \\ \hline 40 \end{array}$

⑦  $\begin{array}{r} 57 \\ -54 \\ \hline 3 \end{array}$

⑧  $\begin{array}{r} 46 \\ -2 \\ \hline 44 \end{array}$

<れんしゅうもんだい 2>

⑨  $\begin{array}{r} 93 \\ -83 \\ \hline 10 \end{array}$

⑩  $\begin{array}{r} 30 \\ -10 \\ \hline 20 \end{array}$

⑪  $\begin{array}{r} 74 \\ -70 \\ \hline 4 \end{array}$

⑫  $\begin{array}{r} 48 \\ -8 \\ \hline 40 \end{array}$

<おうちの人のみんだい> または <じぶんでつくったみんだい>  
(おうちのみなさん、くり下がりがないみんだいを2問、つくってあげてください。)

$\begin{array}{r} 98 \\ -21 \\ \hline 77 \end{array}$

$\begin{array}{r} 76 \\ -25 \\ \hline 51 \end{array}$

<おもしろい わくわく チャレンジもんだい>

50  0

28

75

$\begin{array}{r} -20 \\ 30 \end{array}$

$\begin{array}{r} -70 \\ 20 \end{array}$

$\begin{array}{r} -10 \\ 10 \end{array}$

$\begin{array}{r} - \\ 70 \end{array}$

しゅくだいのふりかえり

いろいろなひきざんができて  
たのしかた。



おうちの人のかんそう

いろいろなやりかたをしようめていくのは、  
いいアイデアにおもいます。またまた、おもしろい  
おもいで、しかりきひのひきざんをわすれないうし  
しまいに...おもしろ。(9.2のわくわくがた4ページ...)

2学年の手作りプリントの宿題

## (2)のびのび算数について

調査家庭連携部では、保護者に向けて算数通信の「のびのび算数」を配布し、学校での取り組みなどを紹介し、学力向上への関心を高めてもらい、学習習慣の定着等について協力を呼びかけている。今までに載せた主な内容は、学習用具点検カードの結果、家庭学習の仕方、睡眠時間の体への影響、各学級の算数の研究授業、アンケートによる保護者の意見などである。

平成20年度は、学校の取り組みが主な内容であったが、平成21年度以降は、生活習慣アンケートや生活がんばりカードの保護者の意見なども取り入れた。参観日や個人懇談で、他の保護者の考えが分かったとか、我が子への接し方などで参考になったとかという声もあり好評であった。

今井小学校算数通信

# のびのび算数

平成22年7月7日

今井小学校では、文部科学省から「学力向上を図った授業づくりに取り組んでいます。今年が最終年度になりますが、この「のびのび算数」を皆様にお知らせしたいと思います。

**研究授業の取り組み**

研究テーマ「学び合い、ともに伸びる子ども」



1年 楽しみ算数はまるよ



2年 操作遊



5年 ヘア学習で  
1年生「0のたしざん」、2年生「ひき算  
年生「分数のたし算とひき算」、6年生「算  
を行いました。



5年 友達のを

具体物を使った操作活動やヘア学習を積極的に学習に取り組むことができました。この先、研究していきたいと思っています。

**教育講演会 「子育てで大切にしたいこと」**

6月27日の参観授業後、元笠岡小学校で「しつけ教育」、ほめて育てる「しつけ教育」、ほめて育てる「しつけ教育」、ほめて育てる「しつけ教育」はしっかり甘えさせることで、人間愛（認める）忙しい日常生活を振り返り、今、子どもと向き合う機会となりました。

**算数好きもりたい**

どの子どもも算数が大好きになってほしいの苦手。」という子どもたちもいます。よく見ると書いてあるのかイメージできなかつたりし授業では、問題文をかくして一行ずつ読ませています。また、実物を見せたり図に表す子どもたちのイメージする力を高めるた見たり触ったりしている子どもは、問題文をきくと、身の回りのものを幼児期や低学年からしっかりさせること子どものイメージする力を高め、問題を

☆「親子のふれあい」について、みなさんからのご意見を集約しています。参考になさってください。（記述回答より）

**【よくできている、まあまあできている 理由】**

- ・学校でのできごとをしっかりと書いています。
- ・寝るときに布団の中で話をしている。
- ・お風呂に一緒に入り、話をしている。
- ・子どもから話せるように、問いかけるようにしている。
- ・家族そろって晩ご飯を食べ、1日の出来事を話している。
- ・学校から帰ってきた時に、迎えてあげているため、話をたくさんしてくれる。

**【大切にしていること】**

- ・食事の時はテレビを消して、1日の出来事を話すようにしている。
- ・学校での様子をしっかりと書く。
- ・あいさつは必ずする。
- ・言葉遣いに気をつける。
- ・できるだけ子どもの方から話をさせる。
- ・どう思ったか、本人の気持ちを聞くようにしている。
- ・楽しかったこと、嫌だったことを聞くようにしている。
- ・共感し、否定はしない。必ず認め、ほめる。
- ・いいこと、悪いことを教えながら話す。
- ・友だちの悪口を言うときには、「悪口じゃなくて、お友達がしてくれてうれしかったこととかを聞きたいな。」と言うようにしている。
- ・間違いや、お金のありがたさ、食べ物の大事さを伝えるようにしている。
- ・会話の中に社会のルール等を混ぜて話をさせる。
- ・相手の立場になった時のことを考えさせる。
- ・マイナス思考にならないように、周りを大きく見て考えるよう伝えている。



“親子のふれあいで大切にしていること”で最も多かったのは、「子どもの話をしっかりと聞く」ということでした。お子様の気持ちを大切に、受け止めていく中で、物事の善悪や、相手の気持ちを考え、思いやれる心を育てていきたいですね。

### (3)生活習慣アンケート

現代の社会において、子どもたちを取り巻く環境や生活様式の変容により、生活習慣病や心の問題など、子どもたちの抱える健康課題は多様化・深刻化している。その課題の多くは、生活習慣や食生活の乱れに起因しているものと思われる。

本校では、望ましい生活習慣の形成が、児童の心身の健全な発育・発達を促し、学力向上の基盤であると考え。そのためには、児童が健康の大切さに気付き、よりよい生活習慣を身につけることが大切である。

そこで、「生活習慣アンケート」を行って、児童の実態を把握し、そこから見える課題について取り組むこととした。

#### 生活習慣アンケート結果より（平日のくらしのようす，％表示）

##### ・朝、何時に起きますか。

	H20 1学期	H20 3学期	H21 1学期	H21 3学期	H22 1学期
6:00 前	2.9	1.5	0	0	0
6:00～6:30	39.7	32.4	59.2	46.6	48.1
6:30～7:00	39.7	51.4	29.5	43.8	49.4
7:00～7:30	17.7	13.2	11.3	9.6	2.5
7:30 以降	0	1.5	0	0	0

##### ・夜、何時に寝ますか。

	H20 1学期	H20 3学期	H21 1学期	H21 3学期	H22 1学期
9:00 前	2.9	1.5	12.7	4.0	10.4
9:00～9:30	35.3	33.8	42.3	35.6	37.7
9:30～10:00	29.4	30.9	23.9	38.4	33.7
10:00～10:30	16.2	20.6	14.1	15.1	16.9
10:30～11:00	16.2	10.3	5.6	5.5	1.3
11:00 以降	0	2.9	1.4	1.4	0

##### ・テレビをどのくらい見ますか。

	H20 1学期	H20 3学期	H21 1学期	H21 3学期	H22 1学期
ほとんど見ない	1.5	3.0	4.3	5.5	6.5
～1時間	9.1	10.5	17.1	19.2	24.7
1～2時間	40.9	47.7	42.9	39.7	54.5
2～3時間	34.9	31.3	31.4	28.8	13.0
3時間以上	13.6	7.5	4.3	6.8	1.3

##### ・ゲームをどのくらいしますか。

	H20 1学期	H20 3学期	H21 1学期	H21 3学期	H22 1学期
ほとんどしない	41.2	38.8	54.9	33.8	54.5
～1時間	33.8	32.8	31.0	45.1	29.9
1～2時間	20.6	23.9	11.3	19.7	15.6
2～3時間	2.9	4.5	2.8	1.4	0
3時間以上	1.5	0	0	0	0

##### ・朝ごはんを毎日食べていますか。

	H20 1学期	H20 3学期	H21 1学期	H21 3学期	H22 1学期
毎日食べる	95.6	95.6	98.5	95.9	97.4
時々食べる	4.4	4.4	1.5	4.1	2.6

1年次1回目のアンケート結果から、本校児童が抱える課題として、「就寝時刻が遅い」「テレビの時間が長い」「ゲームの時間が長い」などが浮かび上がってきた。

そこで、以下のような取り組みを行った。

- 学級懇談のテーマに生活習慣のことを取り上げ、取り組みについて話し合った。
- 学校通信、学級通信を通じて基本的な生活習慣の大切さについて保護者に呼びかけた。
- 講演会を開催し、生活習慣について保護者に呼びかけた。

・平成21年1月 「朝ごはんとかどもの生活について」

講師 笠岡市学校給食センター 山口 享子 栄養教諭

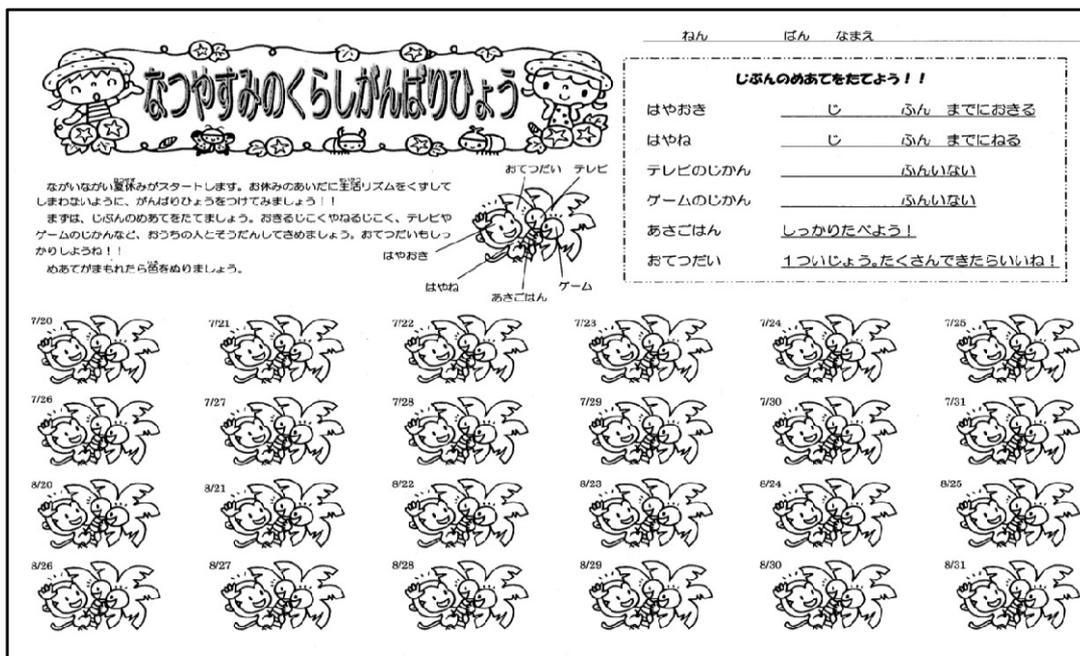
・平成21年6月 「生活リズムと体力づくりでからだと心が元気アップ」

講師 岡山大学教育学部 足立 稔 教授

※6月の講演会は高学年児童も参加し、保護者と一緒に講演を聞いた。

○長期休業中や連休明けに「せいかつがんばりカード」を実施し、保護者と一緒に生活習慣を整えようという意識づけを図った。

○県教委から配布された「チャレンジカード」も積極的に活用した。



### 「せいかつがんばりカード」や「チャレンジカード」の保護者の感想

- ・早寝を頑張ろうと、自分で時計を見ながら行動する姿が見られるようになりました。
- ・なかなかできなかった早寝・早起きがちゃんとできるようになりました。
- ・自分で決めためあてが守れるとうれしいようで、めあてにむかってよくがんばりました。
- ・ゲームの時間を自分で気をつけて減らすことができている、感心しました。早寝・早起きもバッチリでした。
- ・家族みんなでお話をしました。ご飯の時やその他の時なるべくテレビを消して、その分みんなでお話をしました。ゲームも時間を決めてやることができました。家族の会話や外遊びの時間が増えて、いい1週間でした。

### 成果

3年間の取り組みにより、10時までに就寝できている児童が増え、長時間テレビを見たり、ゲームをしたりする児童が減った。

懇談での呼びかけや講演会の開催等により、学校と家庭の連携が図れ、意欲や意識の向上につなげることができたように感じる。生活習慣についての約束を親子で話し合い、実践できている家庭が増えた。がんばりカードを通して保護者と共に児童自身が自分の生活習慣を振り返ることができ、よりよい生活習慣の大切さに気付くことができた。

### 課題

ごく少数ではあるが、朝食を食べずに登校していたり、依然として就寝時刻が遅かったりする児童がいる。協力が得られにくい保護者に対しては、いろいろな場面をとらえて、引き続き呼びかけをしていく。